

教科	科目名	学年	単位数	必修 選択
理科	生物基礎 ・生物	2	4	選択

到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、化学的な見方や考え方を養う。
------	--

年間スケジュール

期間	単元・項目名・実施内容など	受講に対してのアドバイスなど	備考
1 学期 中間	生物基礎 第1部 生物の特徴 第1章 生物の共通性と多様性 第2章 細胞とエネルギー 第2部 遺伝子とその働き 第1章 遺伝情報とDNA 第2章 遺伝情報の分配 第3章 遺伝情報とタンパク質の合成	最初は「生物基礎」の内容です。生物を細胞1つのレベル、さらに細かく分子のレベルで勉強していきます。特に細胞の構造と、遺伝情報の伝達は全ての生物に共通の仕組みなので、基本をしっかりと理解してください。	
1 学期 期末	第3部 生物の体内環境の維持 第1章 体内環境と恒常性 第2章 体内環境の維持のしくみ 第3章 免疫 第4部 生物の多様性と生態系 第1章 植生の多様性と分布 第2章 生態系とその保全	次は、細胞が集まった一つの生物、つまり「個体」のレベル、さらに様々な個体が集まった「生態系」のレベルに対象が広がっていきます。特に生態系は多くの生物が相互に作用しあってバランスが保たれています。その保全の大切さをよく考えてください。	
2 学期 中間	生物 第1部 生命現象と物質 第1章 生命と物質 第2章 代謝 第3章 遺伝現象と物質	2学期からは生物基礎の内容を発展させた「生物」に移っていきます。細胞小器官の構造とはたらき、転写翻訳とその調節機構、タンパク質や酵素の性質や代謝などです。	
2 学期 期末	第2部 生殖と発生 第1章 有性生殖 第2章 動物の生殖と発生	ここでは、遺伝情報がどのようにして受け継がれていくか、1つの細胞からどのようにして1つの個体になるかを勉強します。	
学 年 末	第3章 植物の生殖と発生 第3部 第2章 植物の環境応答	植物の発生は動物のそれとは異なります。植物の構造や、環境刺激に対してどのように応答するかとともに学びます	第3部第1章は3年「生物」で勉強します

評価方法と 評価のポイント	平常点は、提出物の評価と日頃の授業態度がほとんどです。授業中はしっかり話を聴き、メモを取り、問題集を解いてみてその内容を復習しましょう。このように授業時間を有効活用してください。
------------------	---

教科からのアドバイス

「生物基礎」でおおまかな内容をつかみ、「生物」でより発展的な内容を勉強していきます。生物は様々な要素が複雑に作用しあって生きています。基礎の内容から段階を追って理解していくようにしましょう。

